

第13回奈良県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

日時:令和2年7月13日(月) 13:15~14:00

場所:第1会議室

(杉中危機管理監)

- ・感染判明者の発生状況について、資料に基づいて報告
- ・7月4日、1か月以上ぶりに感染者が判明した。
- ・7月4日から12日に判明した事例は27例。
- ・特徴としては、県内において感染経路はほぼ推定できているという状況。
- ・大阪での飲食、勤務、買い物等による感染事例が多くなっている。奈良県における感染事例の特徴といえる。
- ・そのほか特定の事業所等における感染事例が発生。佐川急便(株)奈良営業所で6例、近畿大学医学部奈良病院で2例、県立学校の部活動における感染が3例、家庭内での感染が1例、調査中が2例となっている。調査中の2例以外は推定経路はほぼ推定できている。
- ・資料では推定感染経路から判断する注意事項を示した。県民の方には本事項に留意いただきたい。
- ・資料に対応状況も示している。感染者は軽症または無症状だが、自宅療養させることなく、全て入院・隔離を行い、適切な治療により重症化を予防している。
- ・保健所が積極的な疫学調査を行って濃厚接触者を特定し、PCR検査を実施することにより、感染拡大の防止に努めている。
- ・佐川急便(株)奈良営業所は感染経路を探索するとともに、複数人の感染が発生した要因について調査中。

(鶴田医療政策局長)

- ・近畿大学医学部奈良病院の院内感染事案について、資料に基づき説明。
- ・最初に感染者が発生した病棟でのPCR検査はほぼ終了。1名の退院患者で調整中の方がいるが、それ以外は結果判明済み。
- ・新たに感染者が発生した病棟については、現在入院している患者、当該病棟勤務の医師・看護師のすべての検査を終了し、結果はすべて陰性。
- ・未判明者は退院患者、病棟に関連する従事者がまだ残っているが順次検査を行って

いるところ。

・その他病棟について、発熱症状のある患者、病院関係者は優先して検査を行っているが、現時点ではすべて陰性。

(吉田教育長)

・県立学校では7月8日に陽性が判明。9日・10日・13日と臨時休業とし、9日・10日には校内の消毒を実施。

・感染者と同じ授業をうけるなど接触した生徒・職員は7月19日まで自宅待機としている。

・吹奏楽部の52名を濃厚接触者と特定。PCR 検査の結果、濃厚接触者のうち2名が陽性。

・(感染が判明した女子生徒4名のうち)2名のクラスメイト及び教職員116名を対象にPCR 検査を実施したところすべて陰性。

・(感染が判明した女子生徒4名のうち)他2名のクラスメイト及び教職員については症状は出ていない。今後症状がでれば、直ちにPCR 検査を調整する。

・県教育委員会からは7月10日付で「感染症対策の徹底」及び「同居家族に体調不良者がいる場合の登校に対する考え方」について通知文を发出。

(杉中危機管理監)

・県職員に感染事例発生について報告。

・7月11日(土)に本人の連絡により新型コロナウイルスに県職員が感染していることが判明した。感染者は40代、県土マネジメント部技術管理課の職員。

・症状は資料のとおり。県の初動対応として室内のアルコール消毒を土日の間に実施。

・奈良市保健所により濃厚接触者を職員7名に特定し、本日から自宅待機。

・今後の感染拡大防止等への対策としては、まずは職員へのうつらない、うつさない意識を徹底させることが大事だと考えている。改めて、マスクの着用、手指衛生の対策の周知徹底を図る。

・感染者、濃厚接触者に対しまして、差別、偏見、誹謗中傷しないように職員への人権意識の徹底を図りたい。

(荒井知事)

・今回の感染例は「1次感染」と「2次感染」に分けられる。

- ・1次感染はほとんどが大阪由来と考える。2次感染は県内でうつされた人と分けられる。
- ・2次感染の、県内でうつされた場所は特定されている。1つ目は佐川急便(株)奈良営業所、2つ目は近畿大学医学部奈良病院、3つ目は家庭が2人。4つ目として学校。
- ・前回は大阪の職場での感染事例が多かったが、今回は飲食やパーティ等と見られる。大阪での感染にどう対処するかが奈良にとっての大きな課題。
- ・1次感染への対処としては、往来自粛は必要ないと考えている。勤務で大阪に行かれています方も多いので、往来自粛というわけにはいかない。大阪に行けばどこでもうつるというわけではない。特定の場所や、うつされるパターンをなるべく特定して、そのようなうつされやすい場所に行かれるときには充分気をつけてください、というのが奈良県のパターン。
- ・2つ目のお願いとしては、帰ってからうつさないようにしてくださいということ。
- ・前回は大阪の職場で感染し、家庭で感染したという方が10名程おられたが、今回は、そういった方は少ない状況。
- ・その一方で、佐川急便(株)奈良営業所のように、クラスターと言って良いと思うが、集中感染があった。
- ・学校でも同じ部活の人が感染された、同じ病院でも2名感染者があった、家庭で感染した、といったように、各ケースが非常に明確になっている。
- ・県内での2次感染を防ぐことが、県庁の大きな仕事であると改めて認識したい。そのためには疑わしいケース、あるいは、感染者が発生した職場等でPCR検査を行い、濃厚接触者を広く特定し、安全を確定することを続けていきたい。
- ・陽性者が判明したら、大阪でうつされてきた方も、県内でうつされた方も隔離して、「3次感染」を防ぐことがポイント。
- ・県職員の感染者は大阪在住だが、どのようにうつされたかは調査中。県庁で2次感染が発生しないように用心をしてもらいたい。
- ・(県民への呼びかけとしては、)感染経路の推定を基に、正しく注意する、うつらないように行動することが基本である。
- ・うつらないように対策した上で元気に社会経済活動を再開してほしい。リスクがないわけではないが、用心すればある程度は大丈夫である、ということも分かってきた。適切な用心をしていただければ、健康のための社会活動、あるいは社会が回るための消費と言うことは、どんどんしていただいても良いかと考えている。
- ・うつらない、うつさないことを習慣化していくことをお願いしたい。そのために、うつらな

い対策として、こういう所に行くと、不用心であるとリスクが高いということのケースを基に、県民の方にご報告していきたいと思うので、参考にしていきたい。

・家庭でうつさないことの習慣化を続けていきたい。ケースとして提示しているので、そのよううつされかたをしないようお願いしたい。

・今後の感染拡大防止の考え方、原則を4つ申し上げる。1つ目は、死亡例が少なく、軽症、無症状の方がほとんどであるが、死亡に繋がるリスクはあるので、重症化を極力防ぐということが第一の目標。

・2つ目は、重症化を防ぐ、感染がわかったら、全員隔離する、入院してもらうことは今まで達成できているが、今後も、2次感染を発生させないという観点で、引き続き行いたいということ。

・3つ目は、医療崩壊に繋がらないよう、体制を確保し、医療崩壊をさせないこと。

・4つ目は、感染した施設は一定期間閉じることがある程度必要と考えている。その場所で感染しないように、休業要請という形ではないが、感染が見られた飲食店などがあれば、是非気をつけて一定期間休業していただくことが望ましいかと思う。4つの原則を基本に対策を進めていきたい。

・これまで医療関係者への中傷が見られましたが、中傷や差別はしても意味がない。絶対にやめていただきたいとお願いをしたい。

*終了後、知事記者会見実施